


歯と口の健康づくりを通して  
 育てる望ましい生活習慣  
 ～学校・家庭・地域のつながりを深めながら～

令和5年11月18日  
 北九州市立泉台小学校  
 養護教諭 安富 陽子



1

北九州市立泉台小学校

小倉北区

到津の森公園



小倉城




2

北九州市立泉台小学校





児童数 443名  
 学級数 17学級  
 (通学圏16支援学級1)

3

テーマ設定の理由

取り組み

成果と課題

コロナ禍の令和2年度に着任し、児童に会えない  
 健康診断の実施方法は・・・  
 学校保健委員会も集合型で実施できない・・・  
 児童保健委員会の活動内容は・・・  
 手洗い場の数が少なくて給食後の歯みがきをさせにくい

↓

学校や保健室の中で行う活動に制限が多いため、  
 家庭でも取り組めるよう働きかける  
 生活の中で何度も取り組みのチャンスがある歯みがきに着目

4

テーマ設定の理由

取り組み

成果と課題


学級活動について

○健康診断等の実施方法の  
 大幅な変更・時間短縮

○保健室に学級の児童全員  
 入室できない

○集団指導の場がない

各教室前の廊下で発育測定を  
 行った後、教室内で集団指導



5

テーマ設定の理由


取り組み

成果と課題

学級活動について

パソコン教室内で発育測定後、集団指導

○児童全員へタブレット  
 が配られたことで、  
 パソコン教室が不要に  
 なった



6

テーマ設定の理由 成功と課題

### 学級活動について

学年	指導内容
1年生	6歳臼歯（第一大臼歯）や歯の形について、歯みがきの大切さを考えよう
2年生	口の中の冒険（DVD）を参考に、歯の形や場所によって歯ブラシの使い方を考えよう
3年生	じょうぶな歯と骨のために、栄養バランスと学習中の姿勢について考えよう
4年生	我が小学校のむし歯の数は、永久歯が生えそろう時期の歯みがきについて
5年生	よくかんで食べる、DVDの実験から考えて茶碗の食事について考えよう
6年生	8020運動と歯肉の健康について、自分の生活リズム（通塾）をふりかえろう

※支援学級児童は交流級で参加 学級の歯みがきのめあてについて確認しています


7

テーマ設定の理由 成功と課題

### 学級活動について

歯ブラシ・デンタルフロスのパッケージは開けずに手の動かし方を指導

- 全国小学生歯みがき大会の参加について
- 飛沫防止の観点からブラッシング演習は難しい



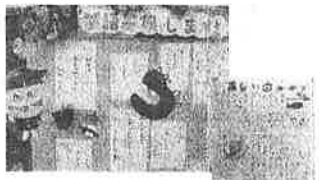
8

テーマ設定の理由 成功と課題

### 児童保健委員会の活動

- 歯と口の健康週間の標語作成と掲示
- 全校児童へ募集・表彰
- ポスター作成

手作りの賞状や景品の準備




9

テーマ設定の理由 成功と課題

### 児童保健委員会の活動

- はみがき・せいかつアンケートの作成
- 学校保健委員会だよりとして家庭へ配布




10

テーマ設定の理由 成功と課題

### 児童保健委員会の活動

動画作成 「予防戦隊ハダイジャー」

- 集会やクイズラリーなどの集合型のイベントの実施が難しい時期
- フッ化物についても紹介したい




11

テーマ設定の理由 成功と課題

### 児童保健委員会の活動

ブランクテストの配布

- 家庭での歯みがきの回数や方法について取り組みたい




12

テーマ設定の理由      取り組み      成果と課題

### 学校保健委員会

毎日の歯みがきをととして、自分の健康について考えよう

- 紙面での実施から、児童・学校職員のみ話し合い、保護者や学校医・学校歯科医の先生方等も含めての話し合いへ




13

テーマ設定の理由      取り組み      成果と課題

### 学校保健委員会

毎日の歯みがきをととして、自分の健康について考えよう

- 各学級ごとに話し合い、歯みがきの年間のめあてを発表する
- 給食後の歯みがきのきまりについて、3ヶ条を決定
- めあて・アンケート結果等を家庭へ周知



14

テーマ設定の理由      取り組み      成果と課題

成果

- コロナ禍で生活が大きく変わったなかでも歯みがきは毎日何度も行っているので、児童が意識しやすかった。
- 感染症の流行により実施内容や方法を変える必要があったが、DVDや模型などの教材、啓発事業が多くあり、養護教諭としても取り組みやすかった。
- 学校でのフッ化物洗口の実施開始と並行して行うことで、スクールヘルパー（保護者）や、九州歯科大の学生ボランティアとの協力体制ができた。

課題

- 集団指導の内容には6年間のつながりを考えているため、継続することが重要となる。
- 養護教諭異動の際の学生ボランティア等との連携について留意する。

15

## ご清聴 ありがとうございました



16